

かみ

やま

よう

すけ

神山洋介

地元だからこそ大切にしたいものがある

2007年に政治活動を始めて10年が経ちました。小田原で生まれ、湯河原で育ち、4人の家族と暮らす地域のなかで、たくさんの方々から言葉、表情、身振り、手振りをお預かりしてきました。この間、終始一貫して訴えてきたことがあります。

日本の将来を考え、夢を持ちながら、目の前のことや地域の日常生活のこと、日本全体のこと、国際社会のこと、全部をひっくるめて現実的に考えて対応していくべきということ。そのために、目の前のことばかりでグシャグシャになり、将来を語るができなくなった政治を、どうにか改めていきたいということです。

未来への責任

この国が抱える人口減少や財政赤字という構造問題は変わっていません。社会保障やエネルギー政策についても、根本的な問題は置き去りにされたまま。周辺国を含めた国際環境も厳しさを増しています。

現実をしっかりと見据えて、いまを生きる私たちと将来を生きる子どもたちのために。未来への責任を問い、積小為大を貫いて、これからも行動していきます。

神山洋介



希望の党

1975年 小田原に生まれ、湯河原に育つ

こゆるぎ幼稚園(小田原市)
湯河原町立吉浜小学校・湯河原中学校
1994年 県立平塚江南高校 卒業
1999年 慶応義塾大学法学部政治学科 卒業
第一生命保険 入社
2006年 (財)松下政経塾(24期卒塾)

2007年 生まれ育った地元で政治活動開始

2009年 第45回 衆議院総選挙 初当選

・安全保障委員会(理事)
・災害対策特別委員会 に所属

2014年 第47回 衆議院総選挙 当選

衆議院内閣委員会理事、安全保障委員会理事、国土交通委員、震災特委員、地方創生特委員
民進党役員室筆頭次長、政務調査会副会長、活火山噴火対策PT事務局長等を歴任

小田原生まれ
地元出身
湯河原育ち